

（表）

指定事業所設置許可申請書

年 月 日

（申請先）

横浜市長

申請者 住 所

氏 名

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第3条第1項の規定により指定事業所について設置の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

指定事業所の名称等	名 称					
	所 在 地					
指定事業所で行う指定作業	条 例 別 表 の 作 業	指定作業番号	指定施設番号	指定施設の名称	設置台数	
事業開始予定年月日 〔事業所設置年月日〕 （既に設置されている事業所の場合に限る。）		年 月 日 （ 年 月 日 ）				

(裏)

他の公害関係法規等の手続状況	<input type="checkbox"/> 大気汚染防止法	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止法	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> 騒音規制法	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> 振動規制法	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> ダイオキシン類対策特別措置法	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> 下水道法	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> その他 ()	年 月 日 提出
連絡先	部 課 係 担当者氏名 電話番号 (内線) 住所 <input type="checkbox"/> 申請者住所と同じ <input type="checkbox"/> 指定事業所所在地と同じ <input type="checkbox"/> その他	
添付書類	・ 指定事業所概要書 (第2号様式) ・ 公害防止方法概要書 (第3号様式) <input type="checkbox"/> その他 ()	

- (注意) 1 条例別表の作業の欄には、同表の1から69までの作業番号及び作業名を記入してください。
- 2 他の公害関係法規等の手続状況の欄には、手続を行った法規について□内にレ印を記入し、その手続を行った年月日を記入してください。
- 3 連絡先の欄の住所でその他の□内にレ印を記入した場合は、住所を記入してください。
- 4 添付書類の欄でその他の書類を添付した場合には□内にレ印を記入し、その添付した書類の名称を () 内に記入してください。

(1)

指定事業所概要書

業	種													
指定事業所における事業内容														
指定作業の工程														
地	域	<input type="checkbox"/> 第一種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第二種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第一種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第二種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第一種住居地域 <input type="checkbox"/> 第二種住居地域 <input type="checkbox"/> 準住居地域 <input type="checkbox"/> 近隣商業地域 <input type="checkbox"/> 商業地域 <input type="checkbox"/> 準工業地域 <input type="checkbox"/> 工業地域 <input type="checkbox"/> 工業専用地域 <input type="checkbox"/> その他の地域												
規	模	資	本	金	事	業	所	員	の	敷	地	面	積	建物の床面積
				円				人				m ²		m ²
敷地・建物の状況	敷地の境界線													
	周辺の状況													
	敷地内における建物等の配置状況													
	建物等の構造													
	建物工事の種類及び工事予定期間	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増改築 年 月 日～ 年 月 日												
状況	生コンクリートプラントを設置する場合は、自動車の出入口の位置													
不飽和ポリエステル樹脂の塗布の作業を行う場合にあつては、その作業の方法														

(注意) 1 のある欄には、該当する内に \surd 印を記入してください。

2 敷地・建物の状況の欄のうち、建物等の構造については、建築図面（平面図、立面図及び構造詳細図）を添付してください。

(2)

指 定	指定作業及び指定施設番号		- () - ()	- () - ()	- () - ()		
	名 称						
	事業所における施設番号						
	種 類 及 び 型 式						
	台 数						
	規 模 又 は 能 力						
	用 途						
施 設	構 造 ・ 配 置 状 況						
	燃 料 又 は 電 力	種 類					
		燃 料 中 の 成 分 割 合 (%)	硫黄分				
			窒素分				
		総 発 熱 量					
		通 常 の 使 用 量					
原 材 料 (排煙の発生 に影響のある ものに限る。)	種 類						
	原 材 料 中 の 成 分 割 合 (%)						
	1 日 の 使 用 量						
	1 日 の 使 用 時 間						
使 用 状 況	季 節 変 動						
原 材 料 等 の 品 目、用途 及び使用量	排煙指定物質、 排水指定物質 及び炭化水素系 特定物質を含有 するもの	品 目	用 途	1月当たりの 使 用 量	含 有 物 質	含有率 (%)	
	その他のもの (主要なもの に限る。)	品 目	用 途	1 月 当 た り の 使 用 量			

- (注意) 1 指定施設の名称の欄には、別表第1の施設の欄の名称を記入してください。
- 2 事業所における施設番号の欄には、事業所で管理のために付けている番号、記号等を記入してください。
- 3 指定施設の原材料中の成分割合の欄には、硫黄分、窒素分及び燃焼に伴い排煙指定物質を排出する可能性のある成分について、その割合を重量比・容量比の別を明らかにして記入してください。
- 4 指定施設の熱源として電力を使用する場合は、種類の欄に「電力」と記入してください。

(A4)

公害防止方法概要書

公害発生源の 指定施設等	発生する 公害の種類	発生源での公害の 程度の予測値	排出口・敷地 境界線等での 公害の程度の 予測値	公害防止対策 (予測値の算出根拠を含む。)
指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法	<input type="checkbox"/> 排煙の排出方法概要書 <input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。） <input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書（ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。） <input type="checkbox"/> 炭化水素系物質の排出に係る施設の排出防止方法概要書（貯蔵施設、出荷施設及び給油施設に限る。） <input type="checkbox"/> ばいじんの排出量明細書（廃棄物焼却炉に限る。） <input type="checkbox"/> 廃棄物焼却炉及び廃棄物焼却炉に係る排出ガス処理施設の設備概要書 <input type="checkbox"/> 粒子状物質の排出量明細書 <input type="checkbox"/> 粉じんの処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 悪臭の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 排水の汚染状態及び量等の明細書 <input type="checkbox"/> 排水の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 地下浸透禁止物質の製造等をする作業に係る施設の構造概要書 <input type="checkbox"/> 騒音の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 振動の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 上記に掲げる書類のほか、指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法を明らかにする図面、表等			

- (注意) 1 発生する公害の種類欄には、大気汚染及び水質汚濁に係るものについては、別表第2から別表第9まで、別表第11及び別表第12に掲げる物質名を記入してください。
- 2 指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法は、規則第94条に基づきみどり環境局長が定める様式の書類を用いることとし、添付したものについて□内にレ印を記入してください。

排煙の排出方法概要書

指定事業所における排煙を発生する施設の番号							
指定事業所における排煙処理施設の番号							
排煙処理施設の種類、名称及び型式							
排出ガス量（定格能力） （ m^3N/h ）	湿り						
	乾き						
排出ガス中の酸素濃度	（%）						
処理能力	排出ガス温度（℃）	処理前					
		処理後					
	排煙の濃度	硫黄酸化物 （容量比ppm）	処理前				
			処理後				
	窒素酸化物 （容量比ppm）	処理前					
		処理後					
	ばいじん （ g/m^3N ）	処理前					
		処理後					
	濃度		処理前				
			処理後				
	除去率（%）	硫黄酸化物	処理前				
			処理後				
	窒素酸化物	処理前					
		処理後					
	ばいじん	処理前					
		処理後					
排出口の高さ及び口径（m）							

（注意） 1 排煙処理施設を設置していない場合は、排出ガスの温度及び排煙の濃度を処理前の欄に記入してください。

2 排煙の濃度の欄には、乾きガス中の濃度を記入してください。

3 排煙の濃度及び除去率の欄には、当該施設から発生する排煙中に含まれる硫黄酸化物、窒素酸化物及びばいじんについて記入するほか、炭化水素系特定物質及び排煙指定物質について、それぞれ当該物質の種類ごとに記入してください。

4 ばいじん濃度等の酸素濃度補正を行う施設については、補正値を記入してください。

窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。）

1 ボイラーに係る窒素酸化物の排出量の許容限度等

ボイラーの番号 及び記号	① 窒素酸化物の排出 量の許容限度 $Q_i \text{ (m}^3\text{N/h)}$ $[\frac{②}{10^6} \times ③]$	② 係 数 C_i	③ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 (O ₂ 0%換算) $V \text{ (m}^3\text{N/h)}$ $[\frac{21-④}{21} \times ⑤]$	④ 定格能力運転時の 乾き排出ガス中の 酸素濃度 $O_i \text{ (%)}$	⑤ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 $V_i \text{ (m}^3\text{N/h)}$

2 ボイラー別の窒素酸化物の排出量等

ボイラーの番号及び 記 号	⑥ 窒素酸化物の排出量 $Q \text{ (m}^3\text{N/h)}$ $[\frac{⑦}{10^6} \times ③]$	⑦ 窒素酸化物の排出濃度 $C \text{ (ppm)}$ $[\frac{21}{21-⑨} \times ⑧]$	⑧ 乾き排出ガス中の窒素 酸化物濃度 $C_s \text{ (ppm)}$	⑨ 乾き排出ガス中の酸素 濃度 $O_s \text{ (%)}$

(注意) 「Q_i」、「C_i」、「V」、「O_i」、「V_i」、「Q」、「C」、「C_s」、及び「O_s」とは、別表第3の1に定めるQ_i、C_i、V、O_i、V_i、Q、C、C_s及びO_sをいいます。

窒素酸化物の排出量明細書
(ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。)

1 ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに係る窒素酸化物の排出量の許容限度等

施設の番号 及び記号	① 窒素酸化物の排出 量の許容限度 Qi (m ³ N/h) [$\frac{②}{10^6} \times ③$]	② 係 数 Ci	③ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 (標準酸素濃度換 算) V (m ³ N/h) [$\frac{21-④}{21-O_n} \times ⑤$]	④ 定格能力運転時の 乾き排出ガス中の 酸素濃度 Oi (%)	⑤ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 Vi (m ³ N/h)

2 ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジン別の窒素酸化物の排出量等

施設の番号及び 記 号	⑥ 窒素酸化物の排出量 Q (m ³ N/h) [$\frac{⑦}{10^6} \times ③$]	⑦ 窒素酸化物の排出濃 度 C (ppm) [$\frac{21-O_n}{21-⑧} \times ⑧$]	⑧ 乾き排出ガス中の窒 素酸化物濃度 Cs (ppm)	⑨ 乾き排出ガス中の酸 素濃度 Os (%)

(注意) 「Qi」、「Ci」、「V」、「Oi」、「Vi」、「Q」、「C」、「Cs」、「Os」及び「On」とは、別表第3の2
に定めるQi、Ci、V、Oi、Vi、Q、C、Cs、Os及びOnをいいます。

炭化水素系物質の排出に係る施設の排出防止方法概要書
 （貯蔵施設、出荷施設及び給油施設に限る。）

炭化水素系物質を排出する施設の種類	排出防止処理設備の概要
貯蔵施設	<input type="checkbox"/> 浮屋根式 <input type="checkbox"/> 炭化水素系物質の排出防止効果を有する装置 装置の名称及び型式（ ） 排出防止方法の概要（ ）
出荷施設	<input type="checkbox"/> 排出濃度が8容量%以下の排出防止装置 装置の名称及び型式（ ） 排出濃度（容量%）（ ） 排出防止方法の概要（ ） <input type="checkbox"/> 除去率が80%以上（温度20℃）の排出防止装置 装置の名称及び型式（ ） 除去率（温度20℃）（ ） 排出防止方法の概要（ ）
給油施設	<input type="checkbox"/> 蒸気返還方式接続設備 <input type="checkbox"/> 凝縮式処理設備 <input type="checkbox"/> 吸着式処理設備 <input type="checkbox"/> その他の設備 設備の名称及び型式（ ） 設備の概要（ ）

（注意） □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

ばいじんの排出量明細書
 （廃棄物焼却炉に限る。）

1 廃棄物焼却炉に係るばいじんの排出量の許容限度等

廃棄物焼却炉の 番号及び記号	① ばいじんの排出量 の許容限度 $Q_i(g/h)$ $[② \times ③]$	② 係 数 C_i	③ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 (O ₂ 12%換算) $V(m^3N/h)$ $[\frac{21-④}{9} \times ⑤]$	④ 定格能力運転時の 乾き排出ガス中の 酸素濃度 $O_i(\%)$	⑤ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 $V_i(m^3N/h)$

2 廃棄物焼却炉別のばいじんの排出量等

廃棄物焼却炉 の番号及び記 号	⑥ ばいじんの排出 量 $Q(g/h)$ $[⑦ \times ⑧ \times \frac{③}{⑧}]$	⑦ ばいじんの排出 濃度 $C(g/m^3N)$ $[\frac{9}{21-⑩} \times ⑨]$	⑧ 乾き排出ガス量 (O ₂ 12%換算) $V_c(m^3N/h)$ $[\frac{21-⑩}{9} \times ⑪]$	⑨ 乾き排出ガス中 のばいじんの排 出濃度 $C_s(g/m^3N)$	⑩ 乾き排出ガス中 の酸素濃度 $O_s(\%)$	⑪ 乾き排出ガス量 $V_s(m^3N/h)$

(注意) 「Q_i」、「C_i」、「V」、「O_i」、「V_i」、「Q」、「C」、「V_c」、「C_s」、「O_s」及び「V_s」とは、別表第5の1(1)に定めるQ_i、C_i、V、O_i、V_i、Q、C、V_s、C_s、O_s及びV_sをいいます。

(1)

粒子状物質の排出量明細書

1 指定事業所における粒子状物質の排出量の許容限度

Q _{D1} (kg/h) [①]		Q _{D2} (kg/h) [⑦]	
Q _{N1} (kg/h) [②]		Q _{N2} (kg/h) [⑧]	
Q _{S1} (kg/h) [③]		Q _{S2} (kg/h) [⑨]	
		Q _H (kg/h) [⑩]	
粒子状物質の許容限度（廃棄物焼却炉を除く。）(kg/h) [①+0.114②+0.213③]	(a)	粒子状物質の許容限度（廃棄物焼却炉に限る。）(kg/h) [⑦+0.114⑧+0.213⑨+0.915⑩]	(b)

粒子状物質の許容限度 Q _{PM} (kg/h)	(a)+(b)
-----------------------------------	---------

2 指定事業所における粒子状物質の排出量

ばいじん (kg/h) [④]		ばいじん (kg/h) [⑪]	
窒素酸化物 (kg/h) [⑤]		窒素酸化物 (kg/h) [⑫]	
硫黄酸化物 (kg/h) [⑥]		硫黄酸化物 (kg/h) [⑬]	
		塩化水素 (kg/h) [⑭]	
粒子状物質の排出量（廃棄物焼却炉を除く。）(kg/h) [④+0.114⑤+0.213⑥]	(c)	粒子状物質の排出量（廃棄物焼却炉に限る。）(kg/h) [⑪+0.114⑫+0.213⑬+0.915⑭]	(d)

粒子状物質の排出量 (kg/h)	(c)+(d)
------------------	---------

3 設置、変更及び廃止の概要

--

(2)

4 ばい煙発生施設（廃棄物焼却炉を除く。）に係る粒子状物質の排出量の許容限度の明細

区分	施設番号	施設名称	設置年月日	施設規模	燃料種類	燃焼能力 (L/h) (kg/h) (m ³ N/h)	ばいじん		窒素酸化物		硫黄酸化物	
							係数	W _{D1} (L/h)	係数	W _{N1} (L/h)	係数	W _{S1} (L/h)
既存施設												
計 (kL/h)								(a)		(b)		(c)

①Q _{D1} (kg/h)	
②Q _{N1} (kg/h)	
③Q _{S1} (kg/h)	

(a)が1以上の場合 [0.363×(a)^{0.865}]
 1未満の場合 [0.363×(a)]

(b)が1以上の場合 [1.06×(b)^{0.865}×2.054]
 1未満の場合 [1.06×(b)×2.054]

[7×(c)×2.857]

窒素酸化物の排出許容限度
[②÷2.054] (m ³ N/h)
硫黄酸化物の排出許容限度
[③÷2.857] (m ³ N/h)

(注意) 事業所に設置されているすべてのばい煙発生施設のうち、設置、変更及び廃止する施設は「区分」の欄にそれぞれ「設置」、「変更」及び「廃止」と記入し、それ以外の既存の施設がある場合は「既存施設」の欄に記入してください。

(4)

6 廃棄物焼却炉に係る粒子状物質の排出量の許容限度の明細

区分	施設番号	施設名称	設置年月日	施設規模	焼却物の種類	焼却能力 (t/h)	ばいじん	窒素酸化物		硫黄酸化物		塩化水素
							W _{D2}	係数	W _{N2}	係数	W _{S2}	W _H
既存施設												
計(t/h)							(a)	/	(b)	/	(c)	(d)

⑦ Q _{D2} (kg/h)	[0.3 × (a) ^{0.865}]
⑧ Q _{N2} (kg/h)	[1.06 × (b) ^{0.865} × 2.054]
⑨ Q _{S2} (kg/h)	[7 × (c) × 2.857]
⑩ Q _H (kg/h)	[0.5 × (d) ^{0.865}]

(注意) 事業所に設置されているすべてのばい煙発生施設のうち、設置、変更及び廃止する施設は「区分」の欄にそれぞれ「設置」、「変更」及び「廃止」と記入し、それ以外の既存の施設がある場合は「既存施設」の欄に記入してください。

(1)

排水の汚染状態及び量等の明細書

項 目			排 水 量 (m ³ /日)		pH	BOD (mg/l)		COD (mg/l)		SS (mg/l)	
			通常	最大		通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	処理前									
		処理後									
	②	処理前									
		処理後									
	③	処理前									
		処理後									
排水 口 別											
合 計											

項 目			nヘキサン抽出物質 (mg/l)				大腸菌数 (CFU/mL)					
			鉱油類		動植物油脂		通常	最大	(mg/l)		(mg/l)	
			通常	最大	通常	最大			通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水 口 別												

(注意) 1 「排水口別」の左欄には事業所内で管理のため付けている排水口の名称・記号等を記入し、右欄には流入する排水処理施設の番号(①、②、③)を記入してください。

2 「合計」の欄には、排水口別の水量の合計を記入してください。

3 項目の欄に記載のない項目については、次の項目のうち排出のおそれのある項目について記載してください。

カドミウム、シアン、有機^{りん}、鉛、六価^ひクロム、砒素、水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、アンモニア等、ダイオキシン類、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、ニッケル、クロム及び1,4-ジオキサン

(2)

項 目			(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)	
			通常	最大								
排水 処理 施設 名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水 口 別												

項 目			(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)	
			通常	最大								
排水 処理 施設 名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水 口 別												
添付 書類	<input type="checkbox"/> 排水口の事業所内位置図											

(注意) 添付する「排水口の事業所内位置図」には、排水処理施設と排水口を記入してください。

(A4)

排水の処理方法概要書

処 理 施 設	処理施設の名称及び種類			
	設置場所			
	工事着手予定年月日			
	工事完成予定年月日			
	使用開始予定年月日			
	型 式			
	構 造			
	主 要 寸 法			
	能 力 (m ³ / 日)			
	処 理 方 法			
	設 計 計 算 書			
	設	使用 状 況	月 使 用 日 数 等	時間／回 回／日 日／月
季 節 変 動				
使用 する 消耗 資材		名 称		
	用 途 別			
	1日当たりの使用量			
添 付 図 面		<input type="checkbox"/> 排水処理施設の構造・規模・能力を説明する図面及び設計計算書		

騒音の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等					
㉑ 発生源での騒音レベル		m dB	m dB	m dB	m dB
騒音対策による減衰値	㉒ 音源対策による減衰				
	㉓ 距離減衰	m dB	m dB	m dB	m dB
	㉔ 建屋による減衰				
	㉕ 防音壁等による減衰				
	㉖ 減衰値合計 ㉒+㉓+㉔+㉕				
敷地境界線での騒音レベル予測 ㉑-㉖					
防音対策の具体的内容					
施設の使用時間		時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後6時まで】 dB	【午前6時から午前8時まで及び午後6時から午後11時まで】 dB	【午後11時から午前6時まで】 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			

振動の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等					
㉠ 発生源での振動レベル		m dB	m dB	m dB	m dB
振動 対策 に よ る 減 衰 値	㉡ 防振対策による減衰				
	㉢ 距離減衰	m dB	m dB	m dB	m dB
	㉣ その他				
	㉤ 減衰値合計 ㉡+㉢+㉣				
敷地境界線での振動レベル予測 ㉠-㉤					
防振対策の具体的内容					
施設の使用時間		時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される 規制基準値		【午前8時から午後7時まで】 dB		【午後7時から午前8時まで】 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			